

= 平成20年第2回定例会 (H20.06.10~06.24) =



平成20年・第2回定例会は、平成20年6月10日～24日までの15日間の会期で開催されました。

市長提案理由説明では、国会において心配していた道路財源の暫定税率を含む税制関連法案が、衆議院における再可決により成立し、行政サービスの低下など、地方財政への大きな影響が回避されたとしました。

また、高規格幹線道路や関連道路等の地域に密着した道路整備を行う、地方道路整備臨時交付金などの道路財源特例法案も成立したとしました。

地方六団体においては、今後の道路財源の改革の方向や、ガソリン税等の暫定税率の失効期間中における地方の歳入欠陥に対して、国の責任において適切な財源措置を講ずる事など、地方の実態を十分に踏まえ対応されるよう要請しているところであると説明しました。

この様な事からも、将来にわたって持続可能な財政基盤の安定を図りながら、不測の事態にも耐えられる健全・堅実な自治体経営が急務であるとし、改めて痛感しているとしました。

補正予算面では、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9千161万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ276億6161万3千円とすると説明しました。

今議会の冒頭、七尾市民憲章[一市民の願い]を議員全員で唱和を行い、6月議会の幕が切られました。一般質問に15名の議員が立ち、市政や議案に対する質疑・質問が行われ、活発な議論が交わされました。私は17日に登壇し、市政全般について質問をいたしました。今議会の概ねについて皆様にご報告致します。



■今議会に提出された補正予算の主な歳出項目(市長提出議案第52号)

単位(千円)

事業	内容	補正予算	担当課
総務一般管理費	AED設置(田鶴浜・中島・能登島の各市民センター、サンライフプラザ、ひよっこり温泉島の湯、健康増進センターアスロン、交流市場)	2,095	総務課
企画事務費	地域開発の新展を見据えた地域資源適地調査(高階・田鶴浜地区)	8,000	企画経営課
姉妹都市交流費	大連市金州区高校生交流事業、イルクーツク州訪問旅費補助	2,003	男女参画課
環境衛生推進費	環境基本計画の策定。	2,717	環境安全課
ポートセールス事業	能登半島地震復興元年記念イベント(H20.9.23)・・・マリノパーク公園	1,000	産業政策課
中学校管理費	AED設置(市内9中学校に設置)	2,694	子ども教育
体育大会運営費	大学相撲大会(第60回全日本大学選抜相撲大会助成・・・H20.7.20)	2,050	スポーツ振興
地域自衛消防団	消火栓ホース購入助成(旭町、国下町、八幡町、鶴浦町)	453	環境安全課
地域福祉推進費	災害時要援護者避難支援(台帳、地図情報、マップ作成)	3,344	福祉課

【議会質問】

※今議会の一般質問は、6月16～17日の2日間にわたり行われました。

第一次七尾市総合計画策定のあり方と取り組み



質問・我が国では、グローバル化や少子高齢化など、様々な環境変化に対応する為、地方分権改革をはじめ税財政改革、規制改革、公務員制度改革など早い流れで改革が行われつつある。道州制や定住圏形成、改正道路整備財源特例法や道路特定財源の一般財源化、そしてふるさと納税等、様々な改革に向けた取り組みが、現在進められている。

また、東海北陸自動車道全線開通により、中京圏との経済交流や広域的な観光振興そして 2014 年度末の北陸新幹線金沢開業も控えている。

- 1. 市では、第一次七尾市総合計画の策定中だが、これらの改革や新たな交流基盤の方向性をしっかり見据えながら、連動できる総合計画の有り方が求められる。策定の有り方とその取り組みについて伺う。
- 2. 基本構想は 10 年間、基本計画は 5 年、そして実施計画は 3 年間のローリングと示している。しかし社会環境変化が激しい中で、総合計画のスパンはこれで良いのか。もっと早いスパンでの取り組みは必要ないのか見解を伺う。



市長答弁・人口減少、少子化や高齢化が進む中で、地域の産業構造も大きく変わる。状況変化を踏まえて七尾市のあり方を具体的につめていく。特に、東海北陸自動車道が7月に開通し、能越自動車道の開通に向けても努力している。合わせて北陸新幹線金沢開業が間近である。そういった事を踏まえてこの地域の有り方を、市民、各種団体、企業一丸となっ

てまちづくりを進めていく。その為の協働のまちづくりをさらに進めていかなければならない。

スパンについては変える必要はないと考えている。そして、平成20年度中に議会議決をいただき、平成21年度からスタートしたい。

七尾市のふるさと納税と課題について



質問・この制度をどの様に受け止め、この事への期待度と効果についてどの様にお考えか。また今後の問題や課題そして取り組みについて伺う。



市長答弁・6月2日からこの事の取り扱いに取り組んでいる。現実にとりどころの方々から納税をいただけるか分からない。過大な期待をしてもいがかかと思う。この事の考え方自体が、都市と地方との格差是正であるが、基本的には単なる所得税の一部を個人の気持ちだけを期待して行う事から、この事が都市と地方との税収格差を、解消あるいは是正する事には成り得ない。基本的には、根本的な税制改革をして、地方へ財源が来る仕組みをしないと地方の自立も出来ないし、単なるふるさと納税でふるさと出身者の善意やふるさと意識をくすぐる事が、どれだけ期待できるか、この事を当てにしてまちづくりは難しいと思っている。



再質問・今ほど答弁をいただいた。この事により、あまり大きな期待やまちづくりを進める事はいかがかと言う事であったと思う。そうは言っても、周りの自治体がこの事に走るとおのずと拍車がかかる。今スタートしたばかりのふるさと納税である『大いに期待したい』と勢いづけていただきたい。職員も大変努力している。この事は納税者と自治体との新しい関係を生み出していく新たな契機となる。努力する自治体としない自治体との格差が出来てくると思う。市長の見解を再度求める。



市長再答弁・期待をしていない訳ではなく、大きな期待をしている。取り組みも他のところに負けない様に頑張っている。申し上げたのは、都市と地方との税収格差を是正するという制度としては、本来おかしい制度だと思っている。ふるさと同士が競争していく中で、格差是正に成るはずが無い。そんな意味で少し冷めた言い方かもしれないが、国が地方をどう考えているのか、抜本的に取り組んで欲しいと思っている。制度として出来たものは最大限努力し、少しでもまちづくりを進めなければならない。この事を通じて、都会で活躍しているふるさと出身者のノウハウや人脈を活かして行く機会にしていきたい。大変大事なツールだと思っている。

朝日中学校建設に伴う入札と課題について



質問・入札は、出来るだけ地元の業者が参加できる条件設定の中で進めていただきたい。工事中の安全性には十分な配慮が求められる。校内や徳田119号線沿線や徳田駅周辺などでの具体的な安心安全対策について伺う。
また、部活動のスペース確保は、どの様な対策を講じて有るのか伺う。

総務部長答弁・6月6日公告し7月10日入札予定。校舎棟建築工事、校舎棟電気工事、体育館棟建築工事等、分離発注により地元業者の入札参加機会の拡大を図る。また校舎建築工事は入札参加要件を設定。①共同企業体(2者自主結成)は、大手建設業者との共同施行を行う事で、構成員(出資比率30%以上)となる地元業者の技術能力向上及びノウハウの蓄積を図る。②構成員に係る所在地が「七尾市」「羽咋市」「輪島市」「珠洲市」「鹿島郡」「鳳至郡」又は「羽咋郡」の区域にある事とし、地域の業者を考慮しつつ公正な競争の確保を図る。また、総合評価に係る評価項目設定では「企業の施行能力」「地域精通度」「地域貢献度」さらに、共同企業体の代表者は「建築一式工事における年間平均完成工事高が予定価格の約3倍の24億円以上ある事」共同企業体の構成員については「平均完成工事高が予定価格の30%(出資比率)の2億4千万円以上ある事」を求めている。

教育長答弁・平成21年9月から校舎・体育館を共用開始できる様に考えている。具体的な安全安心対策として、建設資材の搬入や工事車両の出入りは、原則的に主要地方道七尾羽咋線から県道徳田池崎線を経て、南部体育館前の経路を予定。徳田119号線の拡幅工事については、この建設計画に整合性を持った整備を予定し、道路工事中は通学路として安全柵の設定歩行者や自転車の通行空間を確保すると共に、交通誘導員を配置する等の交通安全対策に万全を期す。部活動については、七尾工業高校跡地グラウンドを借り上げる事で対応し、期間は平成20年8月～平成21年3月までと考えている。主に野球部とソフト部を考えている。



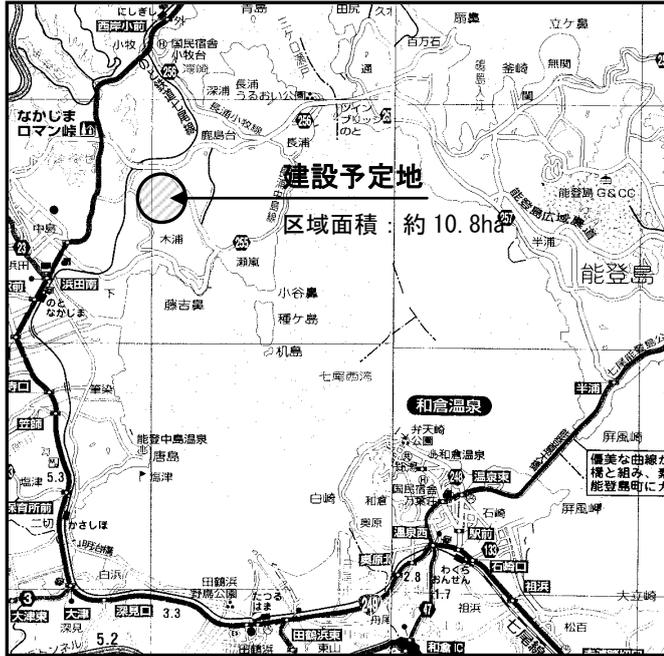
今回、私の議会質問は「第一次七尾市総合計画のあり方と取り組み」「定住自立圏・生活圏構想と七尾市の方向性」「七尾市のふるさと納税と課題」「のと・七尾人間塾修了生のネットワークづくりと支援策」「学校給食費値上げの現状と今後の見通しに伴う課題や取り組み」「朝日中学校建設に伴う入札と課題」「七尾市の環境基本計画と環境会計の導入」「ケーブルテレビと七尾市の広告事業拡充の取り組み」「地域安定型雇用創造促進事業と起業家を支援する取り組み」9点20項目について質問致しました。詳しい内容は市のホームページや平成20年第2回議会議事録等でご覧下さい。
七尾市議会会派『礎』ホームページ <http://www.ishizue.beblog.jp/>

中島地区における養鶏施設誘致

【一括集約型採卵農場建設計画】

計画地・七尾市中島町瀬嵐地内

計画者・富山県高岡市福岡町福岡新 181 番地
イセ株式会社



建設予定地
区域面積：約 10.8ha

■施設等概要

土地	約 10.8ha (108,000 m ² .32,670 坪)		
建物	鶏舎	ハッキング工場	コンポスト
	8 棟	1 棟	2 棟
羽数	初年度 15 万羽. 5 年目 80 万羽		
総生産	初年度 146t. 5 年目 13,521t		
人員	初年度 28 人. 3 年目 142 人		
	地元雇用 120 人予定		
北陸 3 県を商圏ターゲットとした新農場建設			

《これまでの主な経緯》

年.月.日	項目	細別	備考
H20.02.	計画書の提出	七尾市役所	6/17.本会議市長答弁より抜粋。
H20.05.18	地元説明会	中島町瀬嵐・鹿島台地区	七尾市とイセ(株)が説明。(市長名で説明会の案内)
H20.06.05	建設反対請願	中島町瀬嵐町会	<ul style="list-style-type: none"> ▼鳥インフルエンザの流行による危険性。 ▼自然災害時の汚染流出による危険性。 ▼近隣地区へにおいて、衛生面、騒音被害の危険性 ▼生鮮魚介類が風評により売れなくなる危険性。
〃	建設反対の署名	中島町鹿島台町会	<ul style="list-style-type: none"> ▼隣接する住民には内容が伝わっていない。 ▼三重県伊賀市諏訪「伊勢農場」からの直接の声。 <ul style="list-style-type: none"> ・鶏舎から 400m 離れた家でも洗濯物に羽が付着。 ・強い悪臭による頭痛等の健康被害がある。 ・鶏舎屋根の換気ファン音による騒音に伴う不眠。
〃	建設反対決議文	石川県漁業協同組合 (七尾地区運営委員長 七尾西湾支所運営委員長 ななか支所運営委員長 七尾支所運営委員長 佐々波支所運営委員長)	<ul style="list-style-type: none"> ▼施設からのノウイルスに係る最終排水基準値を説明できる資料がない。 ▼鳥インフルエンザの流行による危険性。 ▼自然災害による汚水流出による危険性。 ▼生鮮魚介類が風評により売れなくなる危険性。 ▼沢山の海の資源が傷つけられる危険性。
H20.06.10	反対請願書	中島町鹿島台町会	<ul style="list-style-type: none"> ▼中島、能登島、田鶴浜町会長 25 名の反対署名。 ▼市民 1,321 名の反対署名。
H20.06.15	反対決議集会	中島町瀬嵐町会	今後イセとは一切交渉のテーブルに付かない(55 名)。
H20.06.20	七尾市議会	産業建設常任委員会付託	7/24.三重県伊賀市の「伊勢農場」視察申し合わせ。
H20.06.24	七尾市議会	本会議	産業建設常任委員長報告で反対請願の継続審査報告を受け、本会議では継続審査と決した。

